

海外安全対策情報（2026年7月～9月）

2026年10月
在メルボルン総領事館

- ビクトリア州・南オーストラリア州・タスマニア州当局から公表された最新の犯罪統計及び当館に報告あった日本人の事件・事故を基に作成した、当地の安全対策情報（2026年7月～9月）をお知らせします。
- 犯罪被害に遭わないため、十分な安全対策を講じるとともに、万が一被害に遭われた場合には、速やかに警察に被害届を提出するとともに、当館への情報提供をお願いします。

1 日本人が巻き込まれた主な犯罪被害（当館把握分）

（1）ビクトリア州

ア リッチモンド(Richmond)にあるフードコートにおいて、邦人が食事していたところ、突然見知らぬ女性1名が背後から、邦人の所持していた携帯電話を強奪し、そのまま逃走した。

イ プラーン(Praharan)にある邦人の勤務先において、早朝、何者かが勤務先オフィスに侵入し、オフィス内にあった電子機器や書類等を盗まれた。

ウ オンライン上で知り合った人物からの詐欺被害（2件）。

（2）南オーストラリア州

日本人の犯罪被害は報告されていません。

（3）タスマニア州

北部デボンポートにあるパブにおいて、深夜、邦人が白人らに声をかけられ意気投合し、その後、人気のない場所に連れられていかれ、突然白人らから殴る蹴る等の暴行を受け金品の入った鞆を強奪された。

2 一般犯罪情勢

（1）ビクトリア州の治安情勢（2025年7月～2026年6月）

ア ビクトリア州犯罪統計局より2026年6月まで1年間の犯罪統計データが発表され、同期間中の総犯罪件数は624,624件で、前年同時期比で13,360件（2.1%減）減少し、犯罪発生率も3.8%減少した。これにより2期連続の減少（四半期毎の発表）。ただし、総犯罪件数は3年前と比較すると依然として13%も高い状況。

イ 減少した犯罪形態は、住居侵入（27%減）、車両強盗及び未遂（25%減）、金品強盗

(23%減)、青少年犯罪(17%減)であり、一方で、組織犯罪、違法薬物の密輸や取引、家庭内暴力事案が増加している。

ウ 犯罪件数が減少した主な要因として、①州政府による保釈法の厳格化により保釈却下や取り消しの増加で街頭犯罪が抑制されたこと、②ビクトリア州警察による特定犯罪の抑制を目的とした積極的な現場活動、パトロール増加等が挙げられている。

エ 最新の犯罪統計を踏まえた傾向と留意点は以下のとおりです。

犯罪形態	傾向	留意点
州全体の犯罪動向	2026年6月期までの年間犯罪総件数は624,624件(前年同期比13,360件減、2.1%減)。犯罪発生率も3.8%減少。ただし、総犯罪件数は3年前と比較すると依然として13%も高い状況。	減少幅は前回7月公表値よりも拡大している。一方で、 <u>3年前と比較すると依然として高い水準にあり、短期的な改善と中期的な水準を分けて見る必要あり。</u>
車両犯罪・車両窃盗	車上ねらいは77,874件(前年比10.4%減)。車両窃盗は前年比5.2%減、自転車窃盗は16.9%減。 一方、小売り店での窃盗は43124件で2.7%増加。	<u>車上ねらい、車両窃盗、自転車窃盗は減少しているが、小売り店での窃盗は増加しており、窃盗の類型毎に傾向が別れている状況。</u>
重大・暴力犯罪	重大・暴力犯罪は前年比4.1減。強盗は22.9%減、盗みや暴行を伴う住居侵入は27%減、暴力や脅迫によって無理やり車から降ろし車両を強奪する車両強盗は25.4%減少。	<u>強盗、盗みや暴行を伴う住居侵入、暴力を伴う車両強盗は大きく減少しており、前年同期から改善が見られる。</u>
家庭内暴力・親密な関係における暴力	家庭内暴力や親密な関係の暴行事案は3.4%減少した一方、 <u>同関連の暴行や重大な暴行は増加。</u>	家庭内暴力関連事案は、全体で減少しているが、事案の重篤度に注意が必要。 <u>早期の支援団体や警察等への相談が重要。</u>
命令違反・薬物関連事案	命令違反は87,257件(4.0%増)、 <u>薬物関連事案は、検挙者が11.6%増加し、うち薬物</u>	<u>州全体の総犯罪件数が減少する中で、命令違反と薬物関連事案は大きく増加しており、</u>

	密売・取引に関する検挙者は1 8.5%増加。	注視すべき。
--	---------------------------	--------

(2) 南オーストラリア州の犯罪統計（2025年8月～2026年7月）

ア 南オーストラリア州警察が発表した2026年7月までの最新犯罪統計では、強盗等が減少する一方、警察官への暴行、住居侵入及び車両関係犯罪が増加しています。

イ 最新の犯罪統計を踏まえた傾向と留意点は以下のとおりです。

犯罪形態	傾向	留意点
対人・対物犯罪 総数	殺人・関連犯罪、強盗、対人の窃盗、小売店での窃盗は減少している一方で、 <u>住宅・非住宅への侵入事案が増加。</u>	強盗や窃盗が減少する一方で、 <u>住居・非住居への侵入及び車両関連犯罪は増加している。</u>
警察官に対する 暴行	警察官への暴行は622件から <u>808件へ増加し、前年比30%増。</u>	<u>警察官への暴行事案は、前年比で30%増で増加幅が大きく、公共秩序に対する対応等における警察対応中の現場には近寄らない等の注意が必要。</u>
住居侵入	住居侵入件から5,654件から5,914へ増加。非住居への侵入も3,430件から3,497件に増加。	<u>前回公表期間において住居侵入事案は減少していたが、今次最新の統計では増加している点に留意が必要。</u>
自動車盗等の車 両関連犯罪	自動車窃盗等の車両関連犯罪は11,148件から <u>11,397件に増加し、前年比2%増。</u>	車両関連犯罪は増加が続いており、警察は車内での荷物放置を避けるよう注意喚起を継続している。

(3) タスマニア州の犯罪統計（2025年7月～2026年6月）

タスマニア州警察が発表した2026年6月までの犯罪統計における主な動向と留意点は以下のとおりです。

犯罪形態	傾向	留意点
公共の場における 暴行犯罪	<u>公共の場における暴行犯罪は、州全体で1156件、うちホバートで226件、ロンセストン288</u>	タスマニア州は安全と雖われがちであるが、 <u>ホバート及びロンセストンにおいて公共の場におけ</u>

	件記録されている。	る暴行犯罪は相当数確認されており、 <u>市内中心部での公共の場における酔客、口論、深夜の出歩きには注意が必要。</u>
対人犯罪	対人犯罪は州全体で 6,777 件。発生場所として、住宅 3,463 件、道路・歩道 1,309 件、小売店 670 件が記録されている。	対人犯罪は、 <u>住宅、道路・歩道、小売店などで日常生活に近い場所でも記録されており、発生場所が広く分布している。</u>
警察出動事案	警察出動事案総数は 161,295 件（前年同期比 696 件増）。警察による実動対応事案は 147,648 件（292 件増）。	1 件当たりの対応時間は平均 63 分で、 <u>現場警察官への負担が増大。</u>
家庭内暴力・親密な関係における暴力	家庭内暴力事案は 7,109 件、家族間口論・情報提供は 3,370 件。	家庭内暴力事案は引き続き高い水準にあり、同居の有無にかかわらず注意が必要。 <u>危険を感じる場合は、警察・支援機関への早期相談が重要。</u>
交通安全・車両関連	盗難車両は 1,323 件、車上ねらいは 1,458 件。盗難車両の回収率は 75.9%（1,323 件中 1,004 件回収）。	車両盗難と車上ねらいは、相当数が記録されており、 <u>盗難車両の約 4 分の 1 は未回収である。</u>

3 形態別の防犯対策

（1）車両犯罪

今期は、住宅地や自宅前の駐車車両も被害対象となること、また、犯行を目撃した際に自ら犯人と対峙することの危険性が改めて確認された。

【主な犯罪事例】

ア 8 月、南オーストラリア州警察はアデレード市西部の「Findon」、「Henley Beach」、「Kilkenny」、「Croydon Park」、「Prospect」、「Mansfield Park」で車上ねらいが頻発しているとして、同警察 HP を通じて市民に注意喚起した。

イ 9 月、ビクトリア州 Langwarrin にて、少年らが被害者宅に不法侵入し車を強奪しようとした際、車所有者にみつきり口論となり、被害者男性は少年らに刺傷され重傷を負う事案が発生した。

【防犯上の留意点】

ア 自宅前や住宅敷地内において、短時間の車両駐車であっても、車内に貴重品等の金品を残さずドアや窓の施錠を徹底する。

イ 犯行を目撃した際、接近、制止又は追跡はせず、安全な場所から警察へ通報して、自身の安全を最優先に行動する。

(2) 市内中心部・商業施設・公共施設での安全対策

【今期な主な事例】

ア 9月、ビクトリア州警察は、盗難車両を使用した若者集団が、5日の間に21件の犯罪に関与したとして捜査を開始した。同若者集団は、「Chadstone」、「Clayton」、「Highett」等において、主に単独移動中の女性を狙い、ハンドバック等を強奪した。

イ 9月28日夕刻、タスマニア州ホバート市内中心部において、12～13歳の若者集団が複数の一般市民に対して暴行し、犯人らは逮捕された。報道等によれば、被害者は中国人女子留学生との情報。

【防犯上の留意点】

ア 時間帯にかかわらず、ショッピングモール等の商業施設、駅、路上、CBD等で複数人の集団や不審車両に違和感を感じた場合には、その場から離れて近寄らず距離をとる。

イ 強盗や暴行に遭遇した場合には、所持品を取り返すための抵抗や追跡は行わず、自身の身体の安全を最優先に行動する。

(3) 抗議デモ・抗議集会

ア ビクトリア州や南オーストラリア州では市内中心部でデモ・集会が頻繁に行われており、殆どは平穏に行われるが、対立する集団の接近、交通規制、公共交通機関の遅延、警察による群衆管理が発生する場合があるので、デモや集会には不用意に近づかないことが重要である。

イ 報道やネットを通じて、警察、自治体、交通機関、イベント会場などの情報を確認することが大切です。デモや対立集会の近くでは、写真・動画撮影を控え、警察の指示に従い、移動時間に余裕を持ってください。

(4) 詐欺・オンライン犯罪

SMS求人詐欺、偽公的機関、投資・ロマンス詐欺、銀行・配送・通信会社を装うフィッシング詐欺が発生しています（日本人も被害にあっています）。特に英語や豪州の各種制度に不慣れな方は、急な送金要求、銀行口座利用の依頼、暗号資産・ギフトカード送金、本人確認情報の提供要求に注意してください。

【防犯上の留意点】

・発信者番号だけで相手を信用せず、身に覚えのない、不審な連絡はいったん切り、公式に確認した電話番号へ自らかけ直す。

・オンライン上で知り合った相手や突然連絡してきた人物から、暗号資産 ATM への現金入金、アプリのダウンロード又は送金を指示された場合は、その場で手続きを行わない。

・「仕事のために口座を貸す」「荷物や送金を代行する」といった依頼は、犯罪に関与させられる危険がある。

・金銭被害が生じたが場合、速やかに金融機関へ連絡し、警察・ReportCyber 等への届出、証拠保存、家族・勤務先への相談を行う。

4 各州の交通事故事案や防止策

(1) National Road Safety Data Hub の統計によれば、2026年1～8月のビクトリア州の交通死亡者数は162人（前年同期196人、17%減）、同期の南オーストラリア州の交通死亡者数は76人（前年同期57人、33%増）、同期のタスマニア州の交通死亡者数は21人（前年同期29人、28%減）です。

(2) ビクトリア州警察は、AFL グランドファイナルの3連休に合わせ、9月25日から28日まで州全域で「Operation Scoreboard」を実施した。4日間で6,558件の交通違反を検知し、うち速度違反2,918件、飲酒運転246件、薬物運転127件、運転中の携帯電話使用248件を確認した。昨年の同作戦と比べ、大幅に増加している。

(3) 法令や規則を守った運転の徹底はもちろんのこと、適切な車間距離を保つ、制御できない速度や急ブレーキはさけるなどの、事故をもらわない運転を徹底してください。

5 テロ・爆弾事件発生状況

(1) ビクトリア州、南オーストラリア州及びタスマニア州ではテロの発生はないが、2026年9月23日、ビクトリア州共同テロ対策チーム(JCIT)はカールトン在住の男性を逮捕し、テロ組織 ISIS の構成員であった疑い及び暴力的過激主義資料の送金・所持に関する罪で起訴した。

(2) 豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、2024年8月に全体で5段階のうち下から3番目の「蓋然性がある(PROBABLE)」に引き上げられ、現在も同レベルを継続中である。

6 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

7 日本企業の安全に関わる諸問題

特段注意を要する動向は認知していない。

(了)